

2021年10月1日

侵襲性カンジダ症に対するマネジメントのための臨床実践ガイドライン

この度、本学会から「侵襲性カンジダ症に対するマネジメントのための臨床実践ガイドライン」を発行いたしました。委員会で48のclinical question (CQ)を決め、ランダム化比較試験 (RCT)のあるCQに対してはシステマティックレビュー & メタ解析を行って推奨いたしました。またRCTのないCQでは多施設共同研究を行いました。多くの真菌領域の専門家に委員となっただき、実臨床に役立つガイドラインになったと考えています。ガイドラインを発表すること自体が目的ではありません。侵襲性カンジダ症の治療成績が向上することがゴールとなりますので、多くの先生方に活用いただけることを期待しています。

なお、本ガイドラインは、日本医療研究開発機構 (AMED)の事業の一環として作成されましたので、ここで感謝の意を表したいと存じます。

侵襲性カンジダ症に対するマネジメントのための臨床実践ガイドライン作成委員会
委員長 竹末 芳生